

梅雨の季節に備えて

水防とは…

突然洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が、さまざまな技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを水防活動といいます。

水防活動は、「自らの地域を自らの手で守る」という考えのもと、昔から行われています。

園総務課（☎内線2292）

風水害

気象情報の確実性の向上と情報量の大幅な増加により、台風や大雨などの到来時間や、規模などの情報を早期に知ることができるようになりました。また、河川の改修も進み、現在では風水害による被害は以前と比べて減少しました。しかし、異常気象などにより予測以上の被害を受けることがあります。日ごろから自分の家の環境を確認し、水害に注意しましょう。

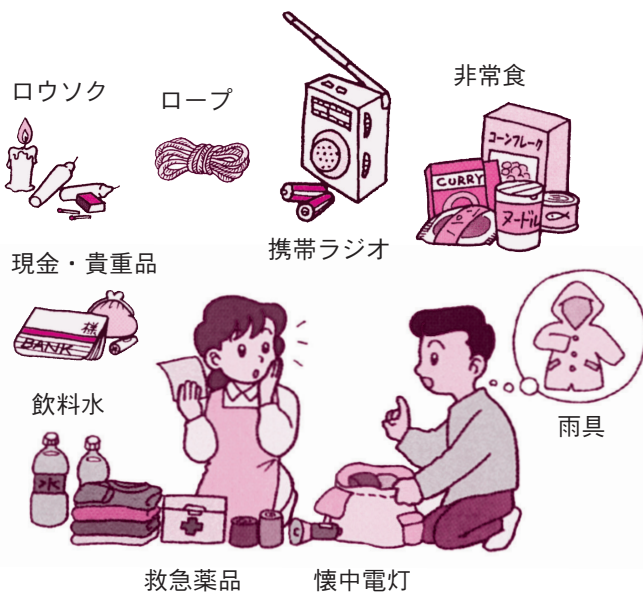
日ごろから注意する点

- ・周りの道路側溝が詰まっているか
- ・テレビやラジオの気象情報
- ・家の地盤が道路より低くないか
- ・周囲に危険な河川はないか



非常持出品を用意しておきましょう

自宅からの避難やライフラインの途絶に備え、当面の生活に必要なものを準備します。避難時に両手が使えるように、リュックに入れておきましょう。



洪水時の避難所一覧

避難所	所在地	電話	避難対象区域
県霞ヶ浦環境科学センター	沖宿町1853	828-0960	沖宿町、田村町、手野町
上 大 津 東 小 学 校	沖宿町2489	828-1018	
湖 畔 荘	手野町1892-1	828-0881	
上 大 津 西 小 学 校	手野町3651	828-1016	木田余、真鍋新町
フークヒル土浦	木田余東台4-1-1	826-2622	城北町、真鍋一丁目
二 中 地 区 公 民 館	木田余1675	824-3588	
土 浦 第 二 中 学 校	東真鍋町21-7	821-0808	港町一・二・三丁目、有明町、桜町一・二丁目、大和町
真 鍋 小 学 校	真鍋4-3-1	821-0752	桜町三・四丁目、大町、千束町、生田町、大手町
土 浦 第 一 高 等 学 校	真鍋4-4-2	822-0137	川口一・二丁目、湖北一・二丁目、東崎町
土 浦 工 業 高 等 学 校	真鍋6-11-20	821-1953	中央一・二丁目、文京町
都 和 小 学 校	並木5-4826-1	831-1510	殿里、真鍋二・三丁目、西真鍋町、東真鍋町、虫掛、常名
都 和 公 民 館	並木5-4824-1	832-1667	
都 和 南 小 学 校	常名3090	823-8251	立田町、田中一・二・三丁目、田中町
土 浦 第 三 高 等 学 校	大岩田1599	821-1605	大岩田
土 浦 日 本 大 学 高 等 学 校	小松ヶ丘町4-46	822-3382	蓮河原町、蓮河原新町、滝田一・二丁目、小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
土 浦 保 健 セ ン タ ー	下高津2-7-27	826-3471	小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
四 中 地 区 公 民 館	国分町11-5	824-9330	
土 浦 第 四 中 学 校	中高津3-10-4	821-0297	下高津一・二・三・四丁目、上高津
下 高 津 小 学 校	下高津4-2-9	821-1100	穴塚、矢作、飯田、佐野子、粕毛
藤 沢 小 学 校	藤沢3057	862-3505	藤沢、藤沢新田、上坂田、下坂田、高岡、田土部
新 治 地 区 公 民 館	藤沢990	862-2673	

※土浦市洪水避難地図を各ご家庭に配布しますので、ご確認ください。



洪水のときの避難の注意点

はき物



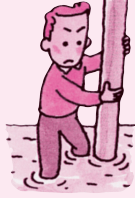
裸足・長靴は禁物。ひもで締められる運動靴で。

ロープにつながって



はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難する。特に子どもから目を離さないように。

歩ける深さ



歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰までであるようなら無理は禁物。高所で救援を待つ。

足元に注意



水面下には、どんな危険が潜んでいるのかわからない。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩く。

子どもやお年寄りを安全に



お年寄りや身体の不自由な人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保する。

□ 早く始めの避難を心がけましょう

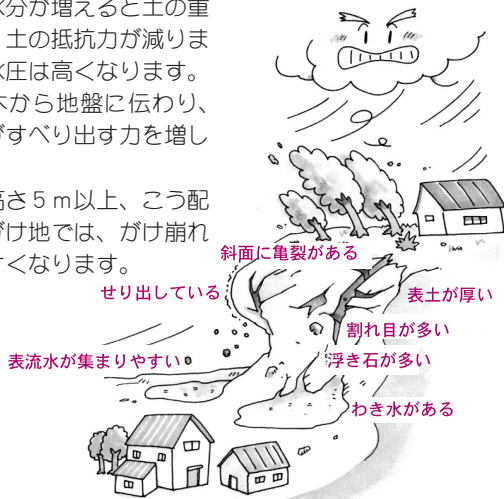
台風や集中豪雨による浸水は一気に押し寄せてきます。避難の遅れは生命の危険に直結します。避難勧告・避難指示が出たときにはもちろんですが、それらが出ているだけでも付近で危険を感じたら、自ら始め早めに行動することが大切です。

※「避難勧告」とは、災害が発生する危険性があるときに避難を促すものです。「避難指示」は、より災害発生危険性が高まったときに避難をさせるために出されるものです。



がけ崩れが起こるわけ

- 雨で土中の水分が増えると土の重さが増して、土の抵抗力が減ります。一方、水圧は高くなります。
- 「風力」が樹木から地盤に伝わり、振動で地盤がすべり出す力を増します。
- この結果、高さ5m以上、こう配30度以上のがけ地では、がけ崩れが起こりやすくなります。



がけ崩れ・地すべり

がけ崩れ・地すべりなどの土砂災害は、長雨・大雨・豪雨により発生します。予測が難しいため、被害が大きいのも特徴です。しかし、「前ぶれ」もありますので、がけ地や傾斜地では注意深く様子を見て、早めに行動することが大事です。

□ こんなときは要注意!

- ・ 小石がバラバラと落ちる
- ・ がけに裂け目ができる
- ・ がけから水がわき出てくる

現在の土浦は、河川改修が進み堤防の決壊などの心配はほとんどありませんが、万が一決壊が起こったときには、霞ヶ浦に隣接する中心市街地などの低地は甚大な被害をこうむる可能性があります。自分の住んでいる地域の避難場所を確認しておくようにしましょう。

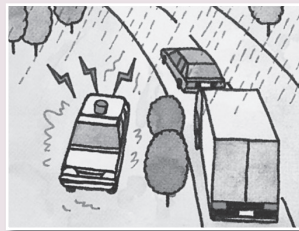
～みんなで防ごう土砂災害～
6月は土砂災害防止月間 6月1日(金)～7日(木)
がけ崩れ防災週間

非常時・緊急時

水害の危険が予想される非常時には、皆さんに水防活動への協力などをお願いすることがあります。水防活動がスムーズに効果的に実施できるように、水防活動へのご理解とご協力をお願いします。



★水防活動への協力要請
住民に対する協力要請があったときは、進んで水防活動に協力しましょう。



★緊急車両の通行
緊急時には、道路でなくても通行させていただくことがあります。



★公用収用
水防活動の現場で、一時的な土地の利用や、竹や木を使わせていただくことがあります。



★水防通信
緊急時には、水防関係者に電話などの通信設備を優先的に利用させてください。